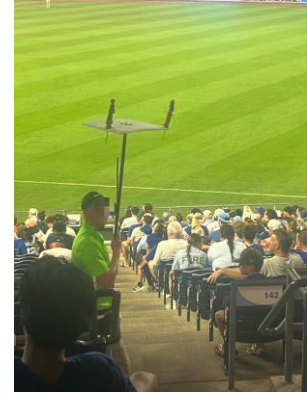
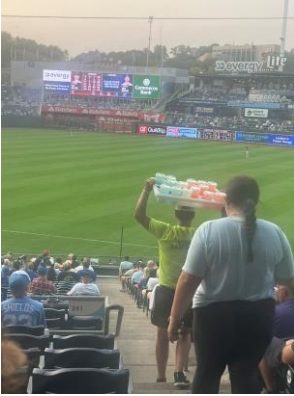


アメリカの球場での発見

尾崎心愛

①売り子



日本のプロ野球の球場にいる売り子といえばビールを担いで売っている人のことを思い浮かべるとと思います。しかしアメリカの球場では驚きの光景が！売り子が頭の上に商品をのせているのです！！一見すると「え？」と思うと思いますが私も初めて見たときはびっくりしました。フードやら飲み物やらがとにかく頭の上に掲げられて売られていました。

ほかにも日本の売り子は女子大生などほとんど女性が担っていると思いますが、アメリカの売り子はおじさんや年配男性が多いです。これは文化的な背景や社会的な期待が影響しているためであることが分かりました。

②応援方法



げ、GET LOUD!?!なんやこれ！！！！

私はこれを見たときどういう状況かわからなかったけど周りの人たちが急に「ああああああああ！」と大声を出し始めたので一緒になって叫びました。私の一番の思い出は前に座っていた女の子と大声対決を個人的にしたことです。日本のプロ野球は7回の攻撃が始まる前に風船を飛ばしたり傘を振ったりして各球団の応援歌を歌いますが、アメリカは特に選手やチームの応援歌がなかったのでこの「GET LOUD」は応援歌的なものなのかただの催しなのか未だに謎です。また、自分の応援するチームに点が入っても立ち上がって歓声をあげたり騒いだりせず日本との応

援スタイルの違いにもびっくりっびっくり。。。

③ピッチング

私が最も驚いたことはピッチングの際に秒数制限が設けられていたことです。詳しく調べてみるとこれは2023年から導入された新ルールであることが分かりました。投手は走者なしの場面では15秒以内、走者ありでは20秒以内の投球が求められ違反すれば1ボールが追加されます。また、牽制球も3度目までにアウトにしなければ失敗となり、走者は自動的に進塁となるそうです。一方で、打者も残り8秒までにボックスで準備を整えなければ1ストライクが加算されます。厳しいルールですね…

日本でも同年の2023から社会人野球で導入されています。プロ野球にはまだ導入されていませんが、プロ野球にも取り入れられる日が近いかもしれませんね。

[感想]

私はよくプロ野球観戦に行くのですが、日本の球場との違いが歴然としていてすごくおもしろかったです。ホームランがポンポン入ったり、スクリーンが大画面だったりとほんとにアメリカだなんて実感しました。この野球観戦は自分にとって本当にかげがえのない貴重な経験になりました。今度はアメリカだけでなく他国の野球の雰囲気も味わってみたいです。



